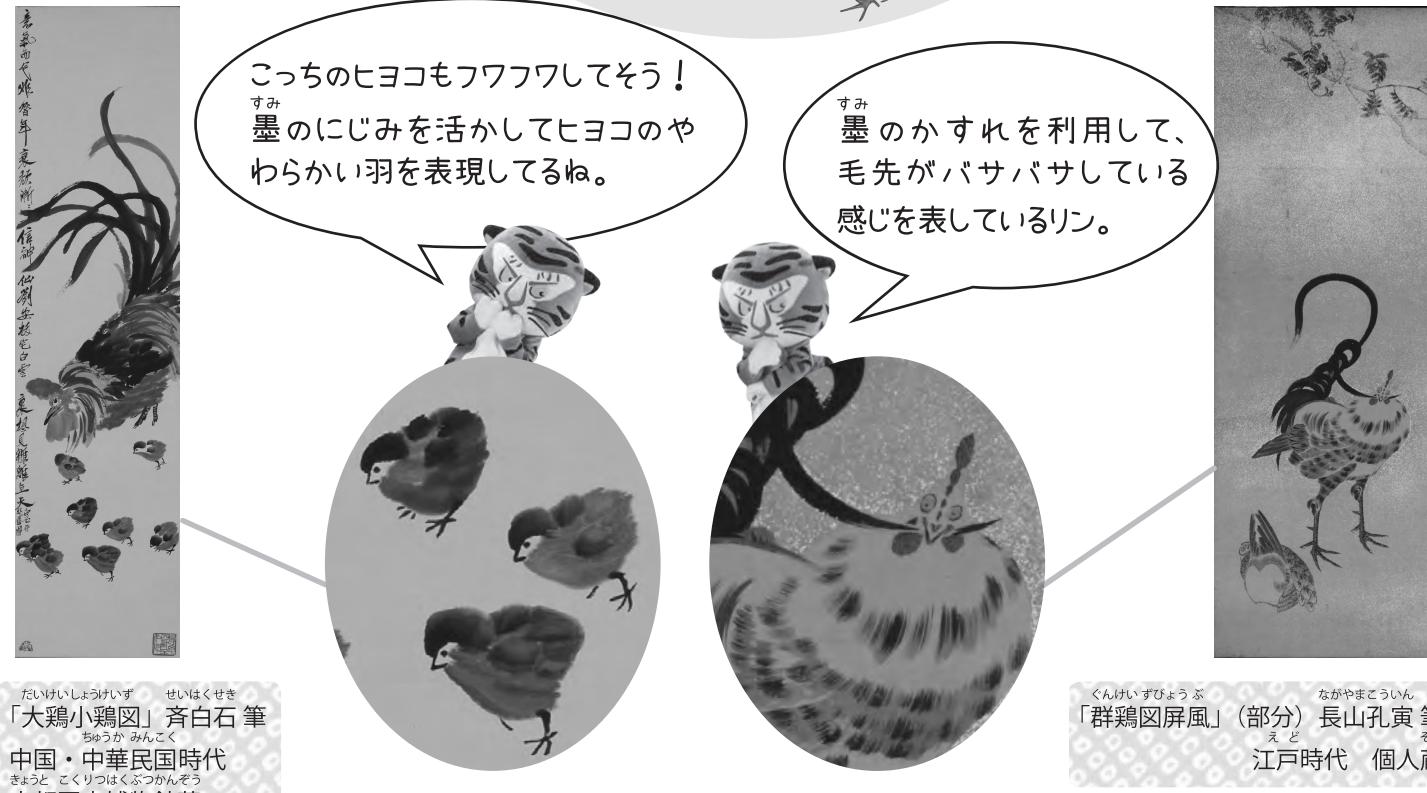


羽をじっくり見てみよう

鳥は全身を羽で包まれています。この羽は、生えている場所によって質感はさまざまです。絵にはどのように描かれているのでしょうか？ニワトリを参考に見てみましょう。さわり心地を想像しながら鑑賞してみても楽しくなりますよ。



「白梅群鶏図」(部分) 狩野永良筆
江戸時代 京都国立博物館蔵



「大鷦小鷯図」齊白石筆
中国・中華民国時代 京都国立博物館蔵

トライんと
見てみよう！



きょうと こくりつはくぶつかん
京都国立博物館
こうしき
公式キャラクター トライん

びじゅつ 美術のなかの鳥たち

しんしんとくしゅうちんれつ
新春特集陳列 とりづくし 一干支を愛でるー^{えと}
かいき
会期：2016年12月13日～2017年1月15日
会場：京都国立博物館 平成知新館

とり 酉年とニワトリ

えと
干支は日付や方角、時間を表す単位として中国で考えられ、5～6世紀頃に日本
けんざい
にも伝わりました。現在では、年を表す単位として使用されていますね。
とり とり
2017年は酉年です。この酉とはニワトリのこと。ニワトリは、夜明けとともに
かちく
鳴くことから、時を告げる鳥として大事にされてきました。古くから家畜として
身近な生き物であり、多くの物語や歌に登場しています。



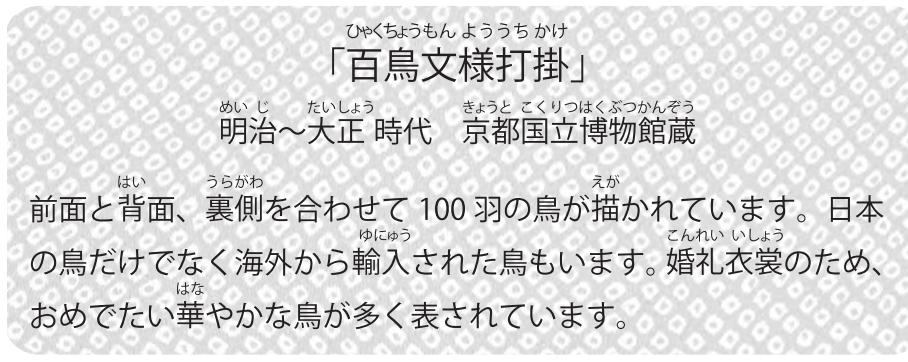
じゅうぶんかさい
重要文化財「十二類絵巻」中巻(部分) 室町時代 個人蔵

えと
「十二類絵巻」には干支の動物たちが人間のような姿で描かれています。この場
いくさ
面は、戦に勝った動物たちが宴会をひらいているところ。輪の中心で、上機嫌で
うた
おど
歌を詠いながら踊っているのがニワトリです。

♪おめでたい鳥を見てみよう♪

すがた あざ ゆう が
愛らしい姿の鳥、色鮮やかな美しい羽を持つ鳥、優雅なたたずまいの鳥。鳥にはたくさん種類があります。ニワトリ以外にも、日本をふくむ東洋の美術にはたくさんの鳥が登場します。鳥は昔から人々に愛され、絵画や、着物、器などに好んで描かれてきました。

絵や工芸に表された鳥には、美しいだけでなく様々な意味がこめられています。それらをすることで、作品を鑑賞することがさらに楽しくなります。鳥が描かれている作品をいくつか見てみましょう。



ホウオウ (鳳凰)

伝説上の鳥で、すぐれた帝王のもとで世の中が平和な時に現れると言われています。ホウオウは鳥の王様とも言われ、ホウオウを中心多く多くの鳥が集う様子は、世の中が平和であることを表しています。



クジャク (孔雀)

毒蛇や毒虫を食べる孔雀は、さまざまなもの災難を払ってくれるありがたい鳥とされてきました。鳥のなかでも、特に華やかです。

オシドリ (鴛鴦)



いつもつがいで行動する仲むつまじい様子から、仲良し夫婦の象徴とされてきました。昔は、つがいを一生変えないと考えられていました。

うちかけ 打掛にはこんな鳥も
えが描かれているよ



キンケイ (錦鶲)

中国に生息している鳥です。日本では、江戸時代から飼育され始めました。

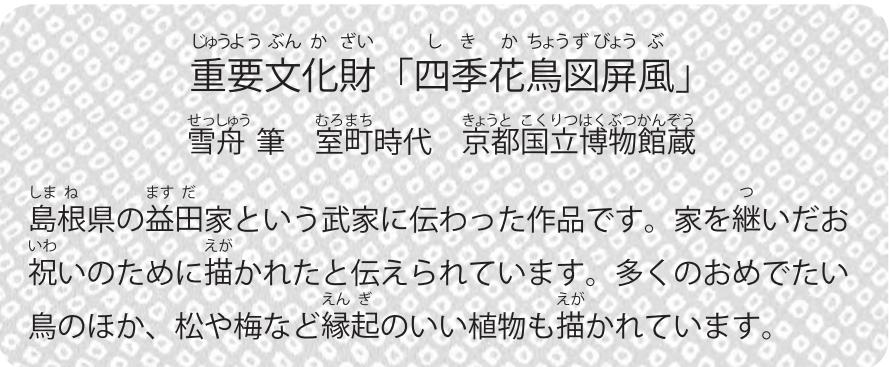


インコの仲間

世界中のいろいろな国に多くの種類がいます。日本には、かなり古くから持ちこまれていました。



海外から輸入された鳥は、今でこそ身近になったけど、当時はすごく貴重でめずらしかったんだりん

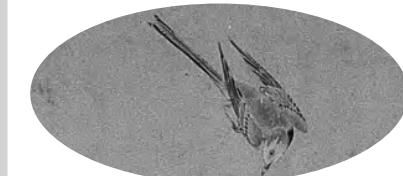


重要文化財「四季花鳥図屏風」

雪舟 筆 室町時代 京都国立博物館蔵

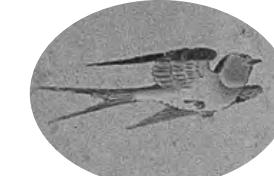
島根県の益田家という武家に伝わった作品です。家を継いだお祝いのために描かれたと伝えられています。多くのおめでたい鳥のほか、松や梅など縁起のいい植物も描かれています。

ハクセキレイ (白鶲鷗)



中国の詩では、兄弟で助け合う深い情愛を表す鳥とされました。

ツバメ (燕)



ツバメが巣を作る家は繁栄するとされ、ありがたがられていきました。



ツル (鶴)

「ツルは千年、カメは万年」と言うように、ツルは長生きの象徴。おめでたい鳥とされました。



コサギ (小鷺)



「鷺」は中国語で「路」や「祿」と同じ発音。出世の「路」を進み、給与(祿)を得るイメージから縁起がいい鳥。

他にもたくさんの鳥にいろいろな意味がこめられているんだよ。
他の作品にはどんな鳥が描かれているのか展示室で見てりん！

